



しらすぎだより 2月号



発行日:令和4年2月10日 発行元:しらすぎ荘広報委員会
住所:宇都宮市白沢町771 電話番号:028-673-8888
ホームページ:<http://roken-shirasagi.jp>



1月10日(水)出張初詣



今年も高原山神社の宮司さんが出張初詣に来て下さり、ご利用者様の健康や新型コロナウイルスの収束を祈り玉串奉納を行いました！恒例のおみくじでは大吉を引いた利用者様は「良かった！」と喜んでいらっしゃいました。

2月3日(金)豆まき



毎年恒例節分豆まきが今年もやってきました！ご利用者様が「福は内い～鬼は外お～！」と鬼に扮した職員にボールを投げつけ鬼たちは見事に退治され、皆様にも“福”が訪れたことでしょう♪



コラム ～バレンタインデーについて～



毎年2月14日にあるバレンタインデー、好きな人や大切な夫・妻、友人などにチョコレートを贈る日ですが、何故日本の祝日でもないのに普及したのか？気になったので調べてみました！

そもそもバレンタインデーとはキリスト教徒の多い国などで、カップル、家族や友人同士が愛を祝う日とされています。海外では大切な人への愛をプレゼントという形で贈る日とされていて、記念日としている国もあるそうです。ところが日本では「女性が意中の男性にチョコレートを贈る日」とかなり違った形で浸透しています。始まりは毎年2月に売り上げが落ちることに頭を抱えていた菓子店主がこの日本版バレンタインデーを発案したと言われており、海外では「男性から女性へ」が定番だったが、日本の文化的に「女性から男性へ」の方が定着しやすく、宣伝方法やキャッチコピーなどもそのように変化していったそうです。

筆者が子供の頃も、「本命チョコ(意中の人用)」「義理チョコまたは友チョコ(友達用)」とバレンタインデーチョコが2種類あって、義理チョコは良くいただいておりました(笑)近年になってはバレンタインデーの逆バージョンとして男性がもらった女性にお返しする「ホワイトデー」も誕生しました。

今年のバレンタインデーも恋人や奥さん・旦那さんへ贈ることももちろんですが、親せきや友人、職場の同僚などみんなでチョコレートを贈り合って、愛情や友情を確かめ合える、そんな平和な日になるといいですね。

新入職員紹介



3階 介護アシスタント
大橋 淳子

1月16日より3階の清掃をしています。初めての仕事なので今は覚える事で精一杯ですが、皆さんに気持ちよく利用していただける様に務めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



3階 介護職
工藤 康弘

介護現場で働くことが初めてなので皆さんに迷惑をかけることが多いと思ひますが、一生懸命に頑張りたいと思ひます。



3階 介護職
星野 奈津希

2月1日より3階に配属された星野です。利用者一人一人に大切に接していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。